

令和8年度 清和小学校 学校経営の改革方針

1 めざす学校（基本理念）

【学校教育目標】

「自ら学び、ともに考えようとする子どもの育成」

【めざす学校像】

- (1) 児童が主体的・協働的に学び活動する学校
- (2) 家庭・地域と協働して子どもたちを育む、地域とともにある学校
- (3) すべての教職員が働きがい、生きがいのある学校

【めざす子ども像】

- (1) 自ら考え、行動する子
- (2) とともに考え、高め合う子
- (3) 人とのつながりを大切にする子

【めざす教師像】

- (1) 信頼される教師
- (2) 高まり合う教師
- (3) 教育に情熱をもつ教師

2 重点目標

- 1 学力向上をめざし、主体的・対話的な学び方の授業を創造する。
- 2 子ども同士がつながり、秩序があり安心できる仲間づくりをする。
- 3 地域・家庭とともにある教育活動を推進する。
- 4 教職員が向上心をもって役割を担い組織的に連携する。

3 本年度の具体的行動計画

(1) 学力保障・学力向上

自らの学びを調整できるこどもの育成

- 授業改善（単元を見通し学び進める授業）
 - ・こどもの困り感、つまづきを大切にする授業
 - ・「授業力 UP 5 ★ver. 2」を意識した授業
 - ・パフォーマンス課題を活用した単元設計
 - ・課題を明確にし、次の授業につなげる研究授業の推進
- 全学年での積み上げ
 - ・全職員での学調・みえスタ等分析
 - ・結果から明らかになった課題の、系統的かつ教科横断的取組
- 家庭学習の充実
 - ・基礎学力の定着 自主学習で計画的に学習に向かう力の育成
- ICTの有効的積極的活用
 - ・授業・家庭学習における質の高い活用に関する研修・情報交換

- ・ I C T 支援員との連携

指標①学調・みえスタ 国・県の平均 + 3 pt

②学校アンケート

「授業はよくわかりますか」 前年比 + 1 pt

「授業でめあてを意識して勉強していますか」 前年比 + 1 pt

(2) きめ細やかな対応と不登校対策

新たな不登校児童を生まない安心・安全な学級・学校づくり

○正しい児童理解と適切な対応

- ・ 発達障害、愛着障害の理解と対応の研修
- ・ 支援・相談体制の確立
- ・ 外部関係機関との連携

○不登校対策の強化

- ・ 校内委員会の設置、児童生徒理解シートの活用

○人権教育を土台として安心できる学級づくりの推進

- ・ 特別支援教育の視点を生かした授業実践・改善
- ・ 教職員の一貫した日常的指導生指案件の適切な指導と組織対応
- ・ 教職員と保護者の徹底したいじめを許さない意識
- ・ 人権学習・出会い学習の充実
- ・ 教職員の人権教育研修会の実施

○非認知能力の育成

- ・ 授業・行事等で非認知能力 4 項目について意識（どの力をつけたいか）させ取り組ませる。
- ・ 子どもがつながり認め合う・他者からほめられる機会、達成感のある活動の意図的設定
- ・ 自分自身を客観的にふりかえる時間の設定
- ・ よいより行動に対する評価の可視化（声かけ・通信・掲示等）
- ・ 読書活動の推進

指標

① 学校アンケート「先生や友だちに認められていると感じますか」

前年度比 + 1 pt

② 非認知能力に関するアンケート 4 項目 90%以上

(3) 小中一貫教育を見据えた幼小中連携の推進

○めざすこども像、重点取組の共通理解 実践

○めざすこども像・重点取組に関する合同研修会の実施

○各担当者を中心として実践交流・授業公開の実施

○校区学校運営協議会との連携

指標 校区内授業参観・研修会 各一人 1 回以上

(4) 働きやすい職場づくりと服務規律の徹底

- 校務分掌の平準化
 - ・二部会のサポートによる若手の育成
- 組織力向上・活性化
 - ・相担、担当者、管理職への報告、連絡、相談の重視、PDCA
- 企画委員会の充実
 - ・課題を見抜く力と解決のための実践力の育成
- 校内外の資源・人材の活用
- コンプライアンス意識の向上
 - ・自分事として捉えるコンプライアンス研修の充実
 - ・職場で防ぐ意識
- ワーク・ライフ・バランスの意識向上・時間外勤務時間の縮減
 - ・自分磨きとリフレッシュの時間を大切にする
 - ・行事や取組の実施方法の見直し

- 指標**
- ① 360 時間／年、45 時間／月を越える時間外労働年間延べ人数 0 人
 - ② 時間外労働 月平均 30 時間以下／0 人
 - ③ 年休取得 年 20 日／人、前年度比で年 1 日／人増加
 - ④ 定時退校日を月 2 日設定、定時退校できる職員の割合 100%
 - ⑤ 放課後開催の会議 60 分以内に終了する割合 100%

R 8 年版「チーム清和」の 5 ケ条

- 1 組織重視
 - 組織で取組** 担任・担当等に一人で背負わせない
 - 組織で対応** 個人の弱点は、組織でフォロー、同僚を支える
 - 全員で実行** 決まったことは、全員が確実に実行
- 2 報告・相談
 - 同僚に報告・相談** 些細なことでも相担・担当に報告・相談
 - 管理職に報告・相談** 管理職にも報告
- 3 日々、改善
 - 授業改善** よりよいものを求めることは楽しいこと
 - 学級づくり** 子どもの笑顔はうれしいもの
- 4 自分磨き
 - 知識を磨く** 教職員の豊かさが、子どもたちの豊かさを育む
 - 感性を磨く** 感度のよいアンテナで、子どもの変化を察知
- 5 健康が一番大事
 - 心と体にゆとりを** ゆとりをもって子どもと向き合える心と体を保つ
 - 助けを求められる職場** “ムリ”になる前に「ヘルプ」を